

3. 流域の社会状況

3-1 人 口

流域内は、門別町の一部、平取町、日高町の3町で構成され、流域面積は1,350km²である。

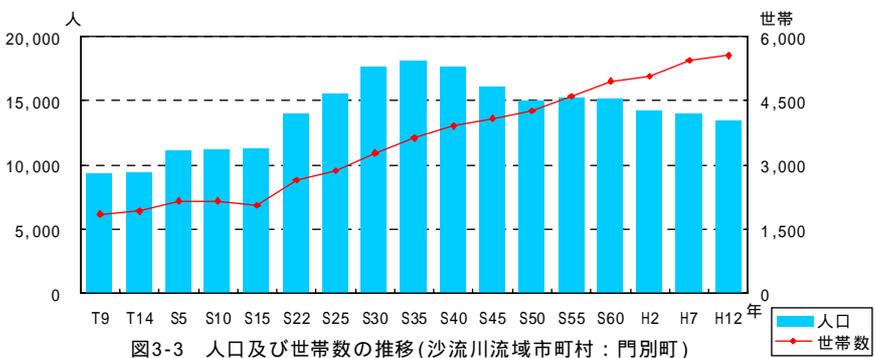
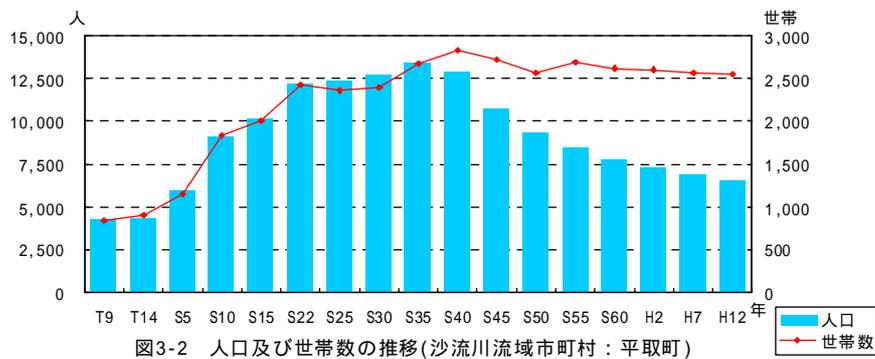
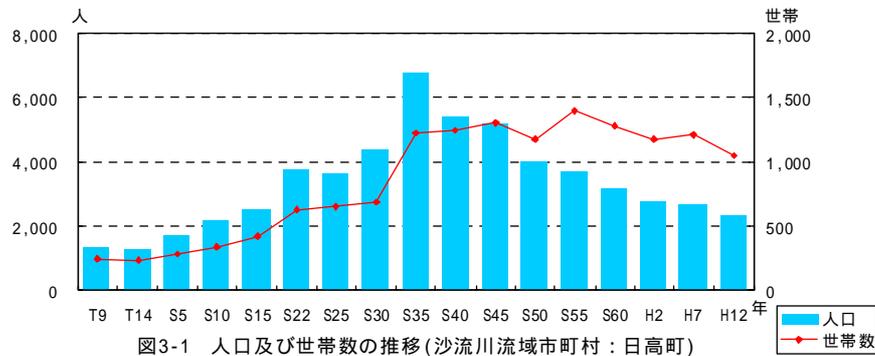
流域の中心集落は沙流川本流(国道237号)沿いに立地し、このうち下流部門別町富川市街が流域内では最も大きな規模を有し、また日高西部一円の拠点ともなっている。

表 3-1 流域内人口

区 分	3町合計	日高町	平取町	門別町	流域内
面 積 (Km ²)	1,736	564	743	429	1,350
総 人 口 (人)	22,286	2,306	6,503	13,477	15,365
世 帯 数 (世帯)	9,138	1,045	2,551	5,542	6,067
人 口 密 度 (人/km ²)	12.8	4.1	8.8	31.4	11.4

流域内の集計は河川現況調査(平成7年度)による

各町の集計は北海道市町村勢要覧(H15)による、人口はH12国勢調査人口を採用



出典：北海道市町村勢要覧による

3-2 土地利用

沙流川流域における土地利用の特徴は、その地形条件を反映して山林の占める割合が非常に高いことである。

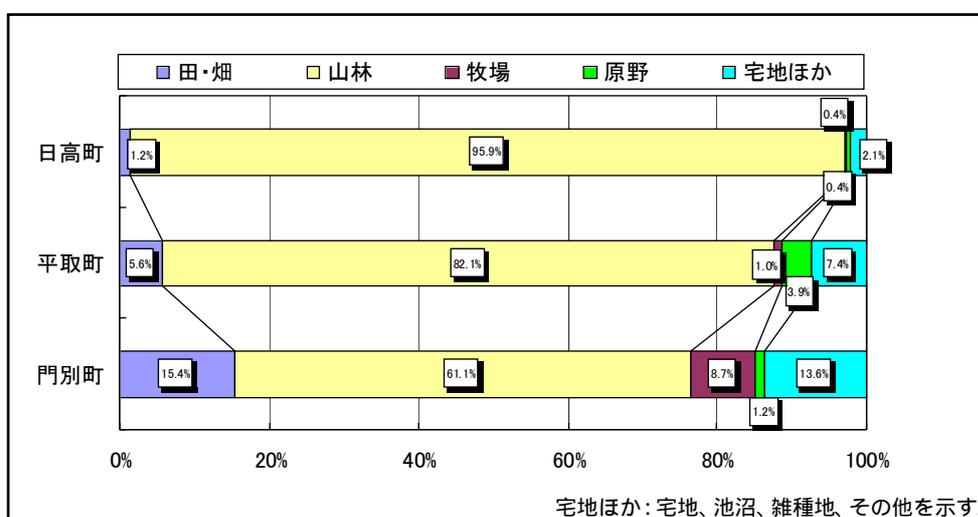
平野部の主な利用は、平取町においては、田、畑、門別町では、田畑のほか牧場に利用されている。

表 3-2 日高町、平取町、門別町における土地利用状況

(単位: km²)

区分	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
日高町	3.44	3.08	1.19	0.08	541.09	2.27	1.99	2.91	7.91
平取町	20.35	21.40	2.85	0.10	609.95	7.32	29.20	5.14	46.86
門別町	13.41	52.49	6.48	-	262.16	37.27	5.26	4.40	47.26

出典:北海道市町村勢要覧(H15)による



(単位: km²)

区分	全流域	山地	耕地	市街地	その他
平成7年	1,338.1 (100.0%)	1,178.1 (88.0%)	73.0 (5.5%)	1.9 (0.1%)	85.1 (6.4%)

図 3-4 流域内土地利用状況

出典:河川現況調査による

3-3 産業・経済

沙流川の最上流部に位置する日高町の町勢は、戦後に鉄道や道路の整備等により拡大し、農業と豊かな森林資源を背景に林業や林産加工業等を中心として発展した。近年はこの農林業人口が減少しているが、国道の整備による商店街近代化や豊かな自然環境を生かした観光関連産業に力が注がれている。

平取町、門別町を支える第一次産業の就業者は全就業者の3割を占め、その大半が農業従事者である。作付面積は水稲、牧草が大半を占めるが、近年では水稲にかわりトマト、きゅうり、軟白長ネギなどの割合も増加している。特に平取町におけるトマトの収穫量は、北海道全体の約20%を占めて全道一を誇り、全国的にみても市町村別順位で三位となり、平取町農業の中核を担う作物として、今後も規模拡大を目指している。

林業は、平取町、日高町は面積の80%以上が森林であることから、これらの豊かな森林資源を活かした生産力の向上が図られている。特に、平取町は私有林面積の占める割合が多い。

畜産は日高支庁管内の軽種馬生産が全国生産頭数の約80%を占めるが、その中でも門別町の軽種馬生産は日高支庁管内の約25%を占めている。門別町では、この軽種馬関連産業をまちづくりに生かすべき重要な要素として位置づけている。また、平取町では肉用牛、豚、門別町では乳用牛の生産も多く、これらは地域の特産品にもなっている。

沙流川はサケ・マスが遡上するほか、北海道の太平洋沿岸のみに分布する日本固有の魚であるシシャモが秋から冬の産卵期に遡上する。このシシャモは門別町を代表する特産品の一つとなっており、その漁獲量は日高管内の約60%を占めている。

表 3-3 日高町、平取町、門別町における産業別就業者数

区 分	日高町		平取町		門別町		3町合計	
	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
第1次産業	128	10.2%	1,087	31.7%	2,535	34.3%	3,750	31.1%
第2次産業	250	20.0%	701	20.4%	1,245	16.9%	2,196	18.2%
第3次産業	873	69.8%	1,644	47.9%	3,603	48.8%	6,120	50.7%
計	1,251	100.0%	3,432	100.0%	7,383	100.0%	12,066	100.0%

出典：北海道市町村勢要覧(H15)による

表 3-4 日高町、平取町、門別町における製造品出荷額、農業粗生産額および漁獲高

(単位:千万円)

区分	日高町	平取町	門別町	3町合計
製造品出荷額	94	96	1,387	1,577
農業粗生産額	28	579	1,128	1,735
漁獲高	-	-	86	86

北海道市町村勢要覧(H15)による、平成13年集計値

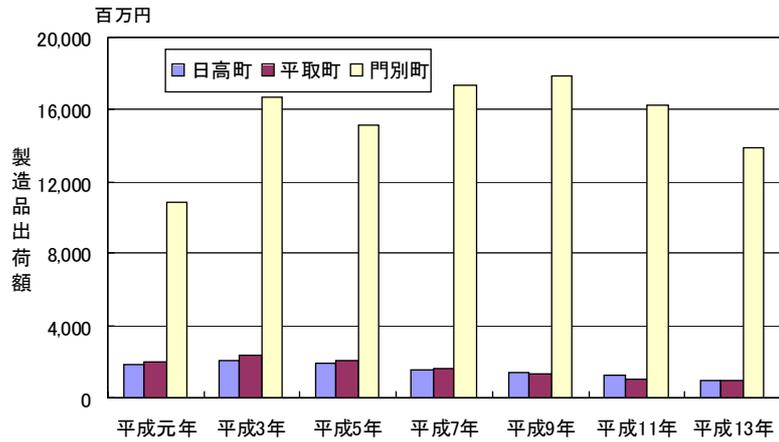


図 3-5 日高町、平取町、門別町における製造品出荷額

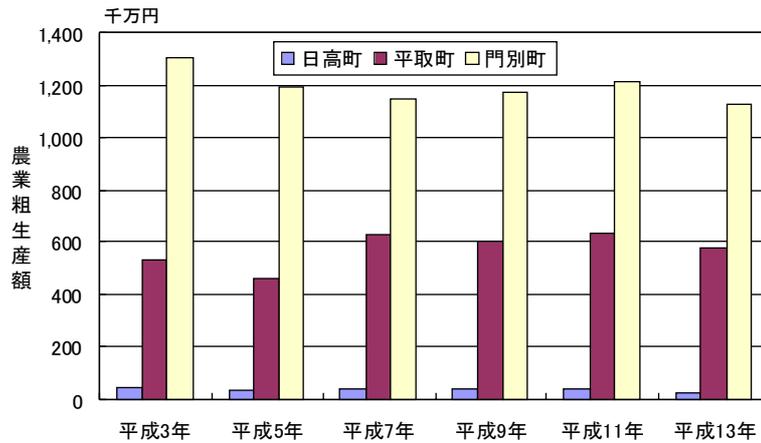


図 3-6 日高町、平取町、門別町における農業粗生産額

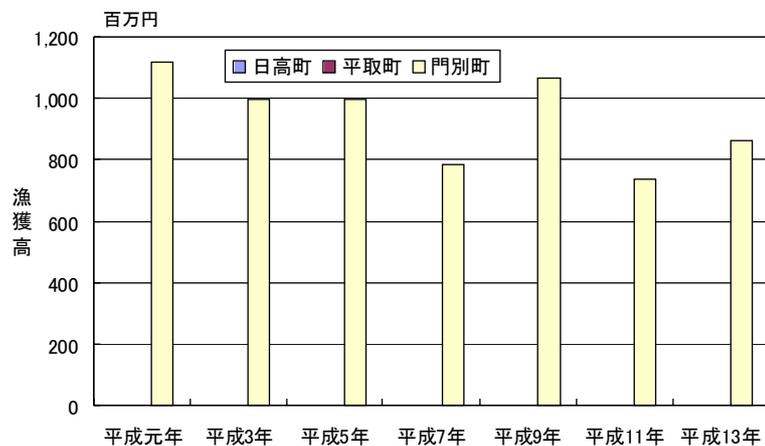


図 3-7 日高町、平取町、門別町における漁獲高

表 3-5 日高町、平取町、門別町における森林面積

(単位:ha)

区 分	日高町	平取町	門別町	3町合計
国有林	50,731	41,895	9,788	102,414
市町村有林	1,336	3,430	4,196	8,962
その他民有林	1,755	17,927	13,851	33,533
合計	53,822	63,252	27,835	144,909

北海道市町村勢要覧(H15)による、平成 14 年集計値



図 3-8 日高町、平取町、門別町における森林面積

表 3-6 日高町、平取町、門別町における家畜頭数

(単位:頭)

	日高町	平取町	門別町	3町合計
乳用牛	148	1,848	4,732	6,728
肉用牛	437	2,545	2,090	5,072
農用馬	18	42	26	86
軽種馬	9	465	3,049	3,523
豚	0	3197	0	3197

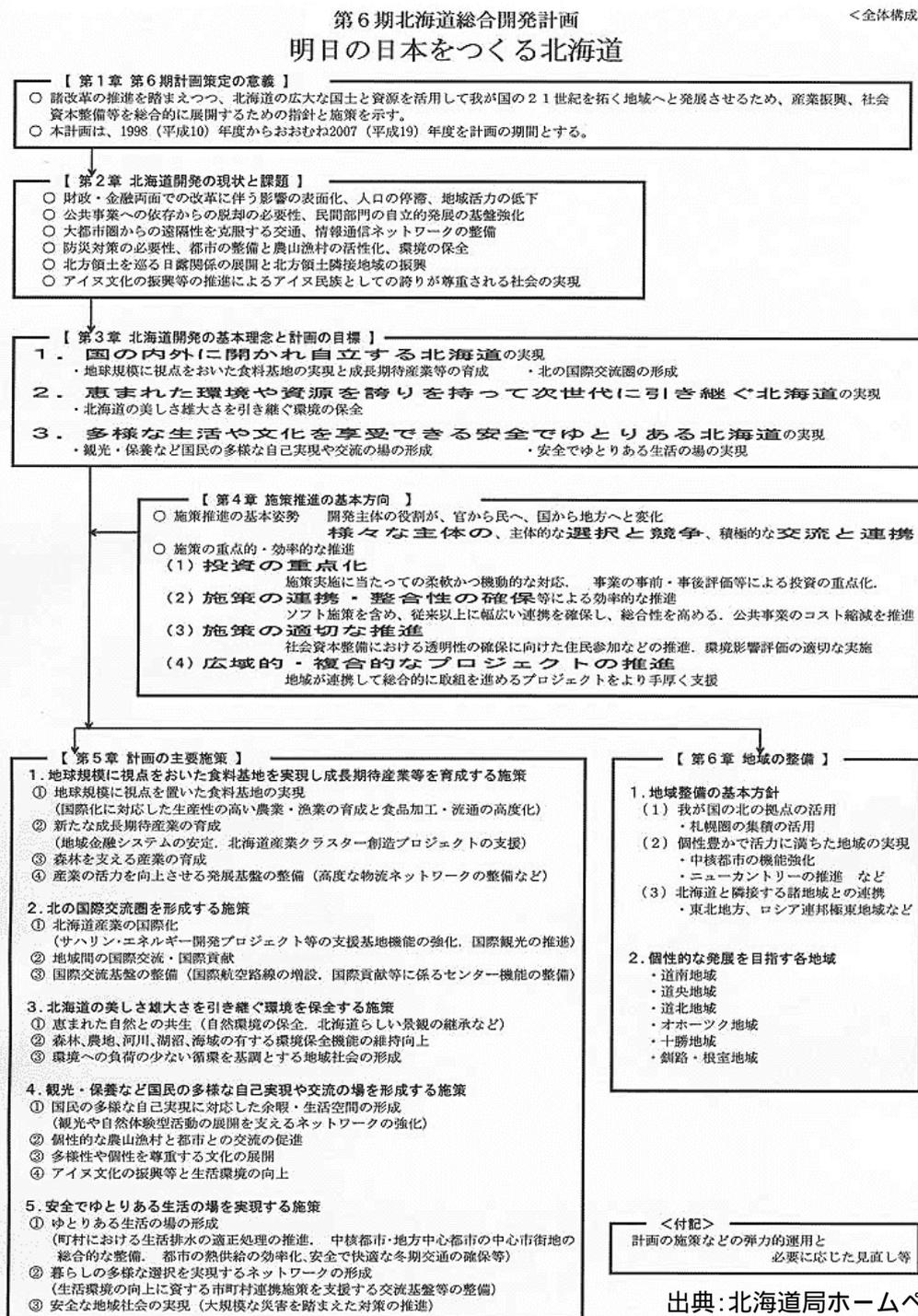
北海道市町村勢要覧(H15)による、平成 12 年集計値

3-5 関係ある法令等の指定状況

(1) 第6期北海道総合開発計画

北海道総合開発計画は、行政改革や国際化、地球環境問題への知見の集積などの大きな情勢の変化を受け、地球規模に視点を置いた食料基地、北の国際交流圏の形成、観光・保養基地の形成や北海道が有する美しく雄大な自然環境の保全、安全でゆとりのある生活環境の創造を目的としている。

これらの目的を重点的・効率的に推進してゆくための一方針として広域的・複合的な地域プロジェクトの推進を掲げており、複数の市町村が連携を図り、総合的に取り組むプロジェクトを支援してゆくものとしている。この地域プロジェクトの中には、沙流川水系に関連するものもある。



(2) 地域プロジェクト及び都市計画

沙流川流域に関連する地域プロジェクトは「日高町手づくりリゾート整備事業（日高町）」、「サーモンパーク整備事業（門別町）」があり、広域プロジェクトとして「鶴川・沙流川ペアライン構想（鶴川町、穂別町、日高町、平取町、門別町、占冠村）」がある。また、沙流川流域内では門別町で都市計画区域が指定されている。

表 3-7 沙流川流域に関連する地域プロジェクト

区分	プロジェクト名	概要
地域プロジェクト	日高町手づくりリゾート整備事業 (日高町)	恵まれた自然を背景に、平成元年4月に北海道富良野・大雪リゾート地域の重点整備地区の指定を受け、通過型から滞在型のリゾート施設の整備を図り、地域の活性化、雇用の拡大及び地域経済の活性化を促進する。
	サーモンパーク整備事業 (門別町)	全国的な清流である「一級河川沙流川」の河川敷と福満川支流を利用し、豊かな自然や地域性を生かしてサケの遡上する姿の鑑賞や手で触れてみるなどの体験ができる施設を整備する。
広域プロジェクト	鶴川・沙流川ペアライン構想 (鶴川町・穂別町・日高町・平取町・門別町・占冠村)	鶴川・沙流川の2本の川の流れ（ペア・ライン）に沿って、流域の環境保全と有効活用を図るとともに、地域が個性的なまちづくりを進め、相互連携による多様性に富んだ表情豊かな流域圏の形成を目指す。

出典：胆振・日高地域プロジェクトマップ(北海道開発局)による

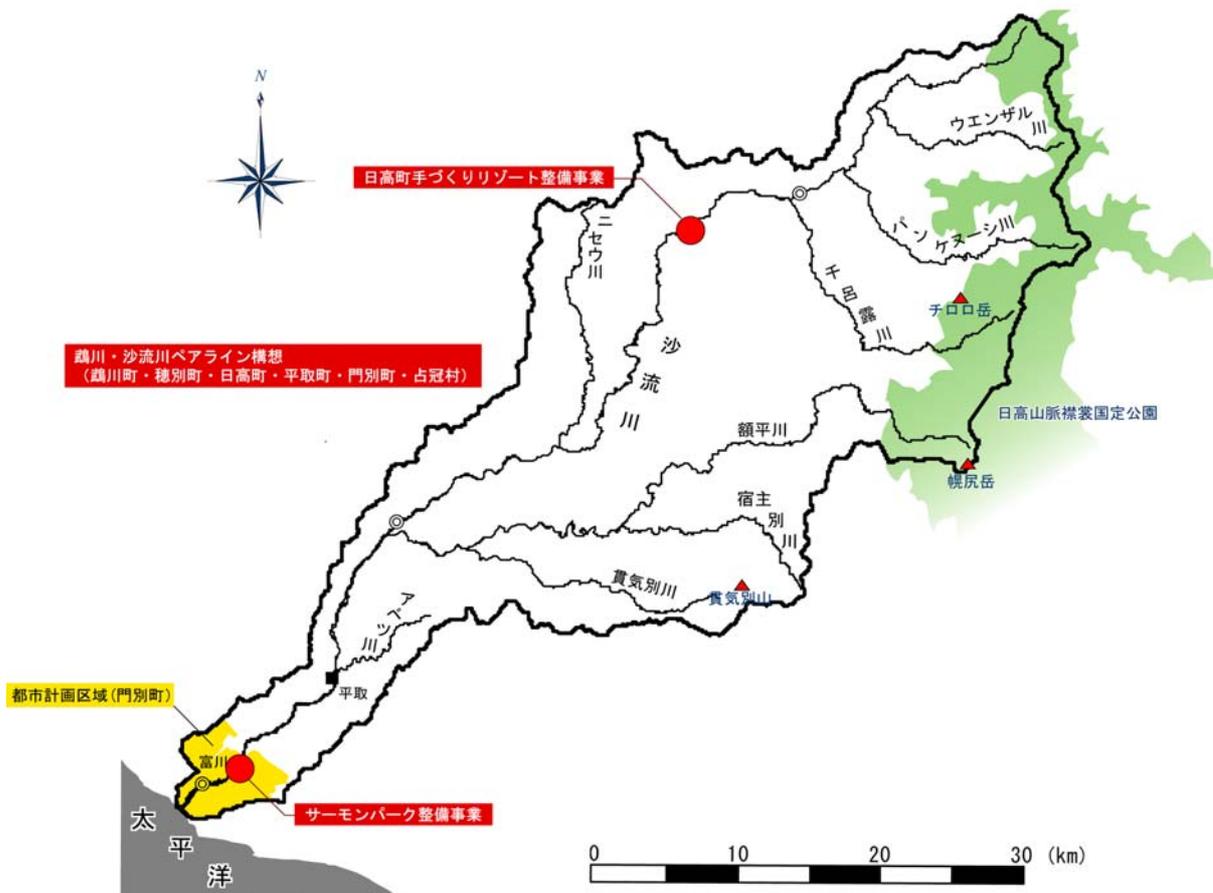


図 3-9 沙流川流域の地域プロジェクト及び都市計画